



2016
春季号

ほっと石川



特集

幸せを実感できる
ふるさと石川の
さらなる飛躍・発展へ

インタビュー

本谷 有希子さん

特集
幸せを実感できる
ふるさと石川の
さらなる飛躍・発展へ … 2

知事の窓 …… 11

ほほえみ 石川のボランティア
ボランティアグループ
やわらぎ (小松市) …… 11

インタビュー
作家・劇作家
本谷 有希子さん …… 12

ラ・フォル・ジュルネ
金沢2016 …… 13

シリーズ道の駅
あなみず(穴水町) …… 14

ご当地グルメ
宝達志水オムライス
(宝達志水町) …… 15

Information
岩手・宮城・福島県から
石川県の皆さまへ …… 16

表紙について

■シリーズ
いしかわの歳時記

大谷川 鯉のぼり
フェスティバル (珠洲市)

4月下旬から5月上旬にかけて、珠洲市大谷町では、町内を流れる大谷川の河口付近に約450本もの鯉のぼりが渡され、春風を受けて気持ちよさそうに大空を泳ぎます。ゴールデンウィーク期間中には、地元グルメや郷土芸能ステージなどのお楽しみ満載のフェスティバルも開催し、多くの家族連れでにぎわいます。子どもの成長を願う鯉のぼり同様、大きな飛躍を期待して掲げたのが「石川県長期構想」です。北陸新幹線金沢開業から1年、新時代を迎えて成長するふるさとの未来図を、今号の特集で紹介しています。ぜひチェックしてください。

表紙切り絵制作 / さぶさちえ (金沢市出身)

幸せを実感できる ふるさと石川の さらなる飛躍・発展へ

平成28年度から 10年間の指針を策定

石川県では、平成19年3月に改定した長期構想をもとに、さまざまな施策に取り組んできました。この10年を振り返ると、昨年3月には県民が待ち望んだ

北陸新幹線金沢開業を迎え、能越自動車道七尾水見道路の全線開通や金沢港に多くのクルーズ船が寄港するなど、陸・海・空それぞれで交流基盤の整備や活用が進みました。さらに、文化の振興や産業基盤の強化、防災・減災対策、医療・福祉の充実など、

県民の安全・安心の確保にも力を注いできました。半面、少子化や人口流出による人口減少、社会・経済活動のグローバル化、地方創生に向けた動きが課題となるなど、あらゆる分野で状況が大きく変化しているのも事実です。

今年3月、県ではこれらの現状を踏まえ、「石川県長期構想」を新たに策定しました。同構想は平成28年度から37年度までの10年間のビジョンを描いたものです。「個性、交流、安心のふるさとづくり」を基本目標に、目指すべき3つの将来像を定め、それぞれに関連した9つの重点戦略を設定(左図参照)。これら重点戦略の実現に向けた個別施策もまとめ、各施策の成果について具体的な数値目標を示しています。県民の皆さんが幸せを実感できるふるさとづくりへ——。この新たな構想を指針に、石川のさらなる飛躍・発展に向け前進していきます。

石川県長期構想

基本目標

個性、交流、安心のふるさとづくり

目指すべき将来像

重点戦略

魅力を磨き
人・ものを
惹きつける
「いしかわ」

1 魅力が輝き交流が盛んな地域づくり

2 個性と魅力にあふれる
文化と学術の地域づくり

3 人を惹きつける生涯居住の地域づくり

成長を実感でき
働く人が輝く
「いしかわ」

4 地域の強みを活かし成長する産業づくり

5 成長する農林水産業と農山漁村づくり

安全・安心と
やすらぎを
感じる
「いしかわ」

6 安全・安心と豊かな里山里海に
包まれる環境づくり

7 少子高齢化を見据えた
希望と安心の社会づくり

8 みんなで支えるやすらぎと絆の社会づくり

9 未来を拓く心豊かな人づくり

10年後の
ふるさとを
こうしたい！
1

魅力を磨き 人・ものを惹きつける 「いしかわ」

県内には、豊かで質の高い文化や、恵まれた自然環境など石川の個性とも言える財産があり、大学や短大などの高等教育機関も集まっています。これらの石川県独自の魅力をさらに磨き、発信することで、県外や国外から人やものを惹きつけ、一層の交流や移住・定住の拡大を目指します。

重点戦略 1

魅力が輝き 交流が盛んな地域づくり

北陸新幹線金沢開業をはじめ、陸・海・空の交流基盤が整い、県内への観光客数は増加しています。加えて、日本海側拠点港である金沢港のテナ取扱量も増加傾向にあり、この10年で人とももの交流は大きく拡大しました。

今後4年後に迫った東京オリンピック・パラリンピックをきっかけとした訪日観光客数のさらなる増加が見込まれ、遅くとも平成34年度末までに予定される北陸新幹線敦賀開業も控えています。そうした中、県民生活との調和を図りつつ、昨年から続く北陸新幹線金沢開業効果を県内各地に波及し、持続・発展させていく取り組みが欠かせません。

県では、ふるさとの魅力を磨き、発信するとともに、これらの交流基盤の整備・活用を進め、人やもの交流をさらに活性化していきます。

例えはこんな施策

「ダブルラダー輝きの美知」構想の推進

県土をくまなく網羅する幹線道路の形成により、人やもの交流拡大を図る「ダブルラダー輝きの美知」構想を推進。のと里山海道の4車線化で能登から金沢への通勤が可能となる人口を増やすほか、加賀海浜産業道路の整備により金沢港の振興と加賀への企業立地を促進することなどを目指しています。



のと里山海道の(柳田IC~上棚矢駄IC)の渋滞状況(平成27年度より4車線化に着手)

石川(フナト)の魅力をさらに取り込みたい



例えはこんな施策

空港を活用した人・ものの交流促進

小松空港とのと里山空港では、航空の強みを活かす羽田乗継の利用促進や国際チャーター便の就航などに力を注いでいます。さらに、小松空港では国際定期便の活用や国際貨物便の活性化にも取り組んでいます。

快適な空の旅を提供する小松空港



今年7~9月に10回の金沢港発着の定期周遊クルーズを実施するコスタ・ビクトリア号

例えはこんな施策

戦略的なクルーズ船の誘致

近年、クルーズ船の寄港が増加している金沢港には、今年も30本が寄港予定です。そのうち金沢港から乗船または下船できる発着型は22本で、いずれも過去最多となっています。県では、クルーズの前後に県内での宿泊が期待でき、より経済効果が高い発着型や、欧米富裕層が多く乗船するラグジュアリー船(高級客船)の誘致に積極的に取り組んでいきます。

重点戦略 2

個性と魅力にあふれる 文化と学術の地域づくり

「地方創生」がキーワードとなる今、地域の個性を高めていくことが重要です。石川県の場合、それは伝統と創造が融合した本物の文化や、大学・短大といった高等教育機関の集積、活発な国際交流などと言えるでしょう。

この石川独自の個性と魅力の価値をさらに高めると同時に、県民がその重要性を再認識し、県内外に広く発信することが地域の活力づくりにつながります。

そのために、県では、さまざまな関係機関との連携・協力により、文化の薫り高い石川としてのさらなる創造と発展、学都石川の魅力の向上、グローバル化に対応した国際交流の拡大に知恵を絞ります。

例えはこんな施策

金沢城公園の整備

金沢城公園については、史跡としての価値と魅力のさらなる向上を目指すため、鼠多門や鼠多門橋などの整備を進めるとともに、金沢城の中核であった二の丸御殿の総合的な調査・研究に取り組みます。



鼠多門・鼠多門橋の整備イメージ図

子どもたちが伝統芸能の魅力を体験できる教室を開催



例えはこんな施策

子どもの文化体験事業の充実

次代の文化の担い手となる子どもたちが伝統芸能や伝統工芸、音楽などに親しめる機会を増やし、文化の継承・発展に努めます。

重点戦略 3

人を惹きつける 生涯居住の地域づくり

人口減少がさらに進み、このまま対策を講じなければ、石川県の人口は、50年後に約78万9000人まで減ると予想されています。

人口減少を食い止めるための施策の一つとして期待されるのが、大学等の高等教育機関が多いという学都としての個性を活かした取り組みです。県内には進学時に県外から多くの学生が集まる一方、卒業時には県外へと就職する

県内企業への就職希望者が減少している



学生が少なくありません。そこで、県内の大学生などの県内就職を促進し、加えて県外へ進学した県内出身者のUターンにも力を注ぎます。

また、充実した交流基盤や暮らしやすい環境など、幅広い世代に移住・定住先として選ばれる地域づくりも重要な課題の一つです。石川県の魅力を含めた移住に関する情報を発信し、石川への人の流れを加速していく考えです。

例えはこんな施策

県内企業とのマッチングを推進

4月に開設する「いしかわ就職・定住総合サポートセンター」と、その首都圏でのワンストップ窓口「いしかわ移住UIターン相談センター」を活用し、求職者と県内企業との一元的なマッチングを図ります。移住希望者や学生、技術力や経験のある人材まで、あらゆる方に対し、移住と就職の支援を一体的に行うのは全国初です。

県内企業がも多く参加する「ふるさと就職フェアいしかわ」



僕たち小学生が文化に触れる機会を増えるのかな



10年後の
ふるさとを
こうしたい！
2

成長を実感でき
働く人が輝く
「いしかわ」

人口減少時代を迎え、国内市場の縮小は避けられません。ただ、海外に目を向ければ、東南アジアなどを中心に経済が急成長している地域もあります。これらの変化に敏感に反応し、石川県の強みを活かしてあらゆる産業の成長・発展を推進し、県内で働く人が輝く産業づくりに取り組みます。

重点
戦略
4

地域の強みを活かし
成長する産業づくり

この10年で、特定の分野でトップシェアを獲得するニッチトップ企業が倍増したり、企業誘致が進展したりするなど、県内産業の競争力が着実に高まっています。一方で、国内市場の縮小と海外市場の拡大が進むほか、新素材として注目される炭素繊維

維複合材料等の革新的な新素材分野や、ライフサイエンス分野（※）などが新たな成長市場として見込まれています。

こうした経済活動を取り巻く状況の変化に対応していくため、層の厚いものづくり企業の技術力や大学等の高等教育機関の集積など、石川の強みを活かして、景気の波に左右されない骨太な産業構造の構築に取り組みます。

※医薬品や医療機器、体調を整える機能のある食品の開発など、生命にかかわる科学を研究する分野

重点
戦略
5

成長する農林水産業と
農山漁村づくり

農林水産業を取り巻く環境では、担い手不足や高齢化、国内市場の縮小など課題が多く、産業への影響はもちろんです。農山漁村の機能そのものが失われることが懸念されています。

そこで、企業・農業法人をはじめとするさまざまな方が農業の担い手となるよう支援を進めるとともに、里山里海での生業

づくりと農山漁村の活性化に力を注ぎます。

農業に関しては、農産物の生産コストを削減したり、ブランド化や食品加工などにより商品価値を高めたりすることによって、収益性を向上させ、成長産業へと押し上げていく計画です。また、林業では健全な森を育むためにも森林資源の利活用、水産業では中長期的な視野で水産資源が安定するように取り組みます。

明るい未来が広がる
産業に期待しています



建設機械を活用し、効率的な農業に取り組んでいます
(写真はブルドーザを活用した水稲直播栽培)



例えは、こんな施策

ものづくり企業と
連携した収益性の向上

ものづくり企業と連携し、情報通信技術や建設機械を活用した農林業の生産性向上に向けた取り組みを進めています。加えて、1次産業である農林水産業が、食品加工や流通販売などの2次産業や3次産業にも取り組む農林水産業の6次産業化（※）も支援しています。

※ 1次×2次×3次=6次産業化

例えは、こんな施策

一層のブランド化に注力

ルビーロマンやエアリーフロラ、能登牛など、全国に誇れる県産農林水産物のより一層のブランド化に知恵を絞ります。さらに、これらに続くオリジナル品

種の開発と定着にも全力を傾けていきます。



あこがれの高級パウとして注目されるルビーロマン

例えは、こんな施策

地域の強みを活かした
里山里海の振興

食や文化、自然など地域の魅力を組み合わせることでスローツーリズム（※）の取り組みを推進。積極的に里山里海での生業づくりをサポートします。

※訪れた地域の文化や自然などにゆっくり触れる観光スタイル



スローツーリズムの核として注目される農家民宿

耕稼塾では、初心者から段階的に学べるコースを設定しています

例えは、こんな施策

新規就農者の
確保・育成

農業の担い手不足の解消に向けて、4月開設の「いしかわ就職・定住総合サポートセンター」と連携し、新卒者やUターン希望者の移住就農に力を注ぎます。並行して、就農希望者に対しては、「いしかわ耕稼塾」で栽培技術の習得や農業経営のスキルアップを支援します。



例えは、こんな施策

戦略的な企業誘致の推進

充実した交通インフラや災害の少なさ、全国トップレベルの企業立地助成制度などの優位性を活かし、本社機能の移転・拡大を含めた戦略的な企業誘致に注力。また、「農業参入総合支援プログラム」により、企業等による農業参入を推進します。



研究開発部門などの本社機能を誘致する企業もサポート

例えは、こんな施策

奨学金返還助成制度を創設

ものづくり中小企業の競争力を強化し、長年にわたって成長していくためには、高度な専門知識を持つ人材の確保が欠かせません。そこで、理系大学院修了者がものづくり中小企業に就職し3年間勤務した場合、奨学金の返還を助成する制度を平成28年度に創設。企業の人材確保を後押しします。



炭素繊維で東海・北陸が連携した取り組みも推進

例えは、こんな施策

東海・北陸連携
コンポジットハイウェイ構想の推進

県内では現在、重さは鉄の4分の1、強さは10倍と言われる炭素繊維にかかわる分野の研究開発が盛んです。そこで、素材を加工する企業が集積する北陸地域と、それを自動車や航空機に活用する企業の多い東海地域が連携し、世界的な生産・加工地域の形成を目指します。

特色を活かし
県内企業を
パワーアップ



10年後の
ふるさとを
こうしたい!
3

安全・安心と やすらぎを感じる 「いしかわ」

全国各地で毎年のように発生する集中豪雨や土砂災害などの自然災害、高齢化したインフラへの対策を強化。さらに、少子高齢化の時代に適した取り組みも進め、県民生活の安全・安心を確保し、誰もがやすらぎを感じながら暮らせる地域を構築します。

重点
戦略
6

安全・安心と豊かな里山里海に 包まれる環境づくり

地域医療の充実も
大きな柱になっていきます



地球温暖化などの影響による異常気象が増え、国内では大規模な自然災害も数多く発生しています。加えて、国内には高度経済成長期に整備されたインフラも多く、老朽化による危険性が指摘されています。

そこで、県では、ハード・ソフトの両面から官民一体となった防災対策を強化。同時に、交通安全や防犯、消費生活、食、医療などの暮らしに身近な安全・安心の確保についても引き続き取り組んでいきます。

また、里山里海をはじめとした石川県の豊かな自然環境は県民の財産です。保存活動を促進し、ふるさとの宝を次世代へと引き継いでいきます。

例えばこんな施策

高度専門医療の提供

平成29年度中の開院を目指し整備が進む新県立中央病院では、がん、救急、感染症、周産期（※）などの各高度専門医療を総合的に提供します。



県の中核病院として、一層の機能強化に取り組めます

例えばこんな施策

地域防災力の強化

大規模災害が発生した際、まずは自分自身を守る「自助」、家族や近所の人たちで助け合う「共助」が必要です。そのため、県民一人ひとりが災害発生時に適切な行動をとれるように訓練を行うとともに、自主防災組織の強化などに取り組めます。



万一の災害に備えた訓練を実施

重点
戦略
7

少子高齢化を見据えた 希望と安心の社会づくり

一層暮らしやすい
力を入れた子育て
力を入れた高齢者
へのサポート

将来にわたって活力あるふるさとをつくるには、出生率を向上させ、少子化に歯止めをかけることが不可欠です。子育て支援先進県として、これまで取り組んできたマイ保育園やプレミアム・パスポートなどさまざまな施策をさらに充実させ、若者の結婚や出産の希望がかない、安心して子どもを生み育てていくことができるよう、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行います。

また、平成37年には団塊の世代が全て後期高齢者となる75歳を迎えます。元気で自立して生活できる期間である健康寿命を延ばすとともに、需要が高まるさまざまな介護ニーズにも適切に対応できる体制を整備します。

例えばこんな施策

結婚を希望する男女への支援体制の強化

結婚支援の推進拠点として「いしかわ結婚支援センター」を設置するとともに、「いしかわ企業版しあわせアドバイザー」を置き、従業員の結婚支援に取り組む企業を「いしかわ婚活応援企業」として認定・支援するなど、官民一体で取り組みます。



婚活を支援するセミナーも開催

重点
戦略
8

みんなで支える やすらぎと絆の社会づくり

あらゆる世代が
安心して暮らせる
石川県に

平成23年の東日本大震災を境に、町内での付き合いや人との絆が、地域社会の安全・安心に大きな役割を果たすことが再確認されました。半面、急激な過疎化などによって祭りや地域行事の担い手となる世代が減っているのも事実です。

若者や高齢者、障害者など地域に住む全ての方が互いに理解し、尊重し合い、支え合って、誰もが安心して暮らせる地域をつくるとともに、男女問わず個性や能力を発揮できる社会を実現するため、さまざまな取り組みを行っていきます。



重点
戦略
9

未来を拓く 心豊かな人づくり

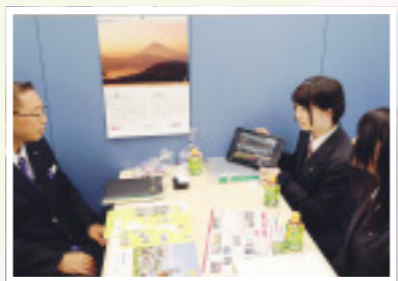
将来、子どもたちが自分の個性や能力を活かして自分らしく生きていけるよう、確かな学力や社会の変化に対応できる力などを育成します。加えて、明るい石川の未来をつくる担い手となってもらうため、子どもたちのふるさとへの誇りと愛着も育みます。そのため、学校では教員の資質・能力の向上や教育環境の整備に努めていきます。県立図書館の機能の強化にも着手し、生涯にわたり学び続ける環境づくりに取り組めます。

また、「2020年東京オリンピック・パラリンピック」をきっかけとして、世界で活躍できるスポーツ選手の育成を行うほか、県民の誰もが気軽にスポーツに親しむことができるよう、環境の整備を進めていきます。

例えばこんな施策

ふるさとに誇りと愛着を持つ人材の育成

子どもたちの郷土を愛する心を育むとともに、企業や大学と連携し、創造力やチャレンジ精神、幅広い視野も磨き、さまざまな分野で活躍できる人材を育成します。



企業と高校生が旅行商品を企画するなど、実践の場を提供します

例えばこんな施策

金大工学部跡地に県立図書館を移転

金沢市本多町にある現在の県立図書館を、金沢大学工学部跡地（金沢市小立野）に移転し、新たに建て替える計画です。新図書館の建設にあたっては、公文書館や生涯学習の場としての機能も持たせる予定で、県民の知の拠点にふさわしい施設の充実を目指します。

高校生に介護の仕事の魅力を発信



例えばこんな施策

安心して暮らせる福祉社会づくり

介護の仕事の経験者で現在は離職中の方をはじめ、学生や就労意欲のある中高年が、介護の仕事に就くことを促します。並行して、現役の介護職員が長く働ける環境づくりに取り組みます。さらに、「いしかわ就職・定住総合サポートセンター」と連携して、福祉分野の求人事業所や求職者のニーズに合った就業の促進を一層きめ細かく行うことができるようにし、介護・福祉人材の確保を進めていきます。また、住民に認知症や一人暮らしの高齢者に対する理解を深めてもらい、地域や社会全体で見守っていただける体制づくりを進めていきます。

ふたつと取らね
ふたつと取らね
ふたつと取らね



石川県長期構想の数値目標

石川県長期構想では、具体的な数値目標を掲げ、着実な成長を目指していきます。

指標名	現状	目標値
県内観光年間入り込み客数	平成26年 2161万人	平成37年 3000万人
外国人年間宿泊者数	平成26年 29万人	平成37年 100万人
兼六園・金沢城公園の年間入園者数	平成26年度 340万人	平成37年度 640万人
県内への就職率	平成26年度 県内出身で県外大学に通う学生 約6割 県内出身で県内大学に通う学生 約7.5割 県外出身で県内大学に通う学生 約1.5割	平成37年度 県内出身で県外大学に通う学生 7割以上 県内出身で県内大学に通う学生 8.5割以上 県外出身で県内大学に通う学生 2.5割以上

製造品出荷額	平成25年 全国比率0.83% 2兆4243億円	平成37年 全国比率増加 2兆7000億円
誘致企業による新規雇用の創出(累計)	平成17年度～26年度 1855人	平成28年度～37年度 2000人
新規就農者数	平成22年度～26年度平均 115人	平成37年度 120人
農家民宿の年間利用者数	平成26年度 1万4000人	平成37年度 2万人

消防団員数	平成26年度 5302人	平成37年度 増加
合計特殊出生率	平成26年 1.45	平成37年 1.73
介護職員数	平成24年度 1万6000人	平成37年度 2万3000人

石川の進むべき方向性を示す羅針盤となる新たな長期構想が、4月からスタートします。構想では今後10年間のビジョンを描いていますが、「十年一昔」の言葉があるように、時代を見通すのはなかなか難しいもの。この10年を振り返っても、あらためてその感を強くします。

例えば、10年前、入港する船が少なく、釣り客で賑わう光景から「釣り堀」と陰口された金沢港。今では全国に100ほどある同じような規模の港の中で、貨物の取扱高が第2位に躍進し、港周辺にはコマツをはじめ企業の集積が進む変わりようです。

さらに、豪華な船旅を楽しむクルーズ船が急増しています。今年は30本が予定され、前年に比べて11本の増加。このうち金沢が発着港となるものが22本にも上り、今や国際観光拠点港としての顔も加わっています。

10年前、この変化を誰が想像できたでしょうか。特に、クルーズ船の金沢人気は私も想定外でした。その理由を聞くと、首都圏とのアクセスが格段に良く



変わった驚きの10年 変わらぬ喜びの10年

なった北陸新幹線だとか。「石川の伝統や文化、豊かな食や自然は、とても魅力的だけど遠くに行きづらい」との心理が一気に解消され、近くなった石川での観光とクルーズをセットで楽しむスタイルが脚光を浴びています。

ところで、この10年、変わらない喜びもあります。私事で恐縮ですが、実年齢より25歳若い体内年齢の維持です。体内年齢は筋肉量が多く、基礎代謝が高いほど若いそうで、足かけ16年になる朝のウォーキングと、お昼の弁当も含めて妻が気を遣ってくれる食事のおかげ。感謝の気持ちで毎日、体重計に乗り、体内年齢を確かめるのが日課になっています。

10年後の石川をさらに輝かせるカギは、やはり新幹線！観光はもとより本県の魅力である質の高い文化や産業、教育の集積、移住・定住などあらゆる面で、新幹線が明るい話題と活力を運んでくるよう、皆さんとともに知恵を働かせたいと思います。

smile 石川のボランティア



ボランティアグループ
やわらぎ
(小松市)

耳を傾けることで
生まれる笑顔の輪
無理せず、楽しく長く

主婦や仕事をリタイアされた方などの13人で結成するボランティア「アグループ」やわらぎ。モットーは、「無理をしないで、楽しく長く」です。メンバーは、都合のいい日時に小松市のやわたメディカルセンター内の通所サービスに足を運び、利用者の皆さんの話し相手となる傾聴ボランティアに取り組んでいます。また、ひな祭りやお花見などの施設のイベント時にも頼りになる存在で、車いすや歩行の介助などのサポートをしています。



傾聴や車いすの扱い方などの勉強会も定期的に開催しています



結成から18年。市などが主催したボランティア講座の修了生を中心に結成しました

● 問い合わせ
ボランティアグループ やわらぎ
代表 渡辺 桂子
小松市八幡 112番地7 (やわたメディカルセンター内)
TEL 0761 (47) 1212 (代表)

県内のボランティアに関する情報は

石川県社会福祉協議会ボランティアネット



ラ・フォル・ジュルネ金沢2016



ナチュール - “自然と音楽”
la nature

4.28(木)-5.5(木・祝)
本公演 5.3(火・祝)-5.5(木・祝)

今年のゴールデンウィークも金沢の街は、クラシック音楽の調べで華やかに彩られます。恒例イベントとなった「ラ・フォル・ジュルネ金沢2016」では、国内外から一流アーティストが金沢に集まり、石川県立音楽堂や金沢市アートホールなどを舞台に演奏。期間中に開催する約170公演の中には、小さなお子さんから楽しめるコンサートもたくさんあります。ぜひ家族みんなで音楽の旅に出かけましょう！



世界から一流のアーティストが集結(写真は昨年のラ・フォル・ジュルネ金沢の様子)

今年の音楽祭は
音楽で“自然”を感じよう



毎年、異なるテーマで音楽祭を実施するのが、「ラ・フォル・ジュルネ金沢」の魅力の一つ。9回目となる今年は「ナチュール - “自然と音楽”」をテーマに、ルネサンスから現代に至るまで、自然を題材とした数々の名曲を演奏します。花や鳥、動物、川、海などの身近なものから惑星や宇宙空間まで、音楽が創り出す多種多様な“自然”の世界をお楽しみください。

おすすめ公演

県立音楽堂邦楽ホール

■ 5/3(火・祝) 11:00 ~ 11:45

ベルリン・フィルの名手らが奏でる「四季」

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の第1ヴァイオリン奏者・町田琴和氏を迎え、バロック音楽を代表する作曲家ヴィヴァルディの名曲『四季』を演奏します。

- 出演 / 町田琴和 (ヴァイオリン)、オーケストラ・アンサンブル金沢メンバーズ
- 演奏曲 / ヴィヴァルディ: ヴァイオリン協奏曲『四季』
- 料金 / 1500円



町田琴和

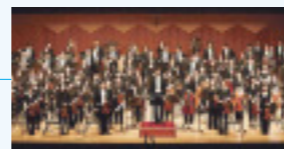
県立音楽堂コンサートホール

■ 5/3(火・祝) 14:45 ~ 15:30

大人気の名曲を迫力の演奏で!

韓国屈指のオーケストラ、プチョン・フィルがドヴォルザークの「新世界より」を披露。第2楽章は「遠き山に日は落ちて」として親しまれています。

- 出演 / ヨンミン・パク (指揮)、プチョン・フィルハーモニック・オーケストラ
- 演奏曲 / ドヴォルザーク: 交響曲第9番『新世界より』
- 料金 / S:2500円、A:2000円



プチョン・フィルハーモニック・オーケストラ

県立音楽堂コンサートホール

■ 5/5(木・祝) 16:00 ~ 16:45

OEKが奏でる「ナチュール」

今回のテーマである「自然」の主役といえる作品、ベートーヴェンの「田園」をオーケストラ・アンサンブル金沢の演奏でお届けします。

- 出演 / 井上道義 (指揮)、オーケストラ・アンサンブル金沢
- 演奏曲 / ベートーヴェン: 交響曲第6番『田園』
- 料金 / S:2500円、A:2000円



オーケストラ・アンサンブル金沢

ラ・フォル・ジュルネ金沢チケットボックス TEL076 (232) 8118

金沢市昭和町20-1 石川県立音楽堂内

公演や出演者などの最新情報はホームページをチェック

www.lfjk.jp

ほっと石川

INTERVIEW

白山市出身の本谷有希子さんの小説『異類婚姻譚』(講談社)が今年1月、第154回芥川賞を受賞しました。石川県出身者として初の芥川賞に輝いた本谷さんに、受賞時の心境やふるさとへの思いを聞きました。



芥川賞受賞の一報が入った時、私は母や生後3カ月の娘、出版関係者の皆さんと自宅にいました。芥川賞候補となるのは今回が4度目で、いつもならば、ホテルのラウンジや喫茶店などに関係者と集まって待つ場合が多いのですが、どうにも周囲の緊張がこちら

思いがけず届いた吉報

芥川賞受賞の一報が入った時、私は母や生後3カ月の娘、出版関係者の皆さんと自宅にいました。芥川賞候補となるのは今回が4度目で、いつもならば、ホテルのラウンジや喫茶店などに関係者と集まって待つ場合が多いのですが、どうにも周囲の緊張がこちら

喜びを実感の 笑顔に 周りの人たちの

受賞作もふるさとで

ら、受賞の知らせが届いた時、最初は「えっ、いいの」と思ったのが正直なところ。ただ、周囲に目を向けると、みんなが本当に喜んでくれていたんです。私の作品が初めて芥川賞の候補に上がったのは23歳の時でした。それから13年、ずっと応援し支えてくれた人たちの笑顔を見て、私も少しずつ喜びがこみ上げてきました。

地元の影響の大きさも、とてもうれしく感じています。受賞後にはまだ帰省できていませんが、白山市役所にかげられた垂れ幕や、書店に積み上げられた著書などの写真、父や友達が次々と送ってくれています(笑)。

受賞作の『異類婚姻譚』はふるさとと縁の深い作品です。出産を控えて白山市



芥川賞受賞の記者会見時の本谷さん

本谷有希子さん

作家・劇作家

もとや・ゆきこ 1979年7月松任市(現白山市)出身。金沢錦丘高校卒業後に上京。2000年に劇団「本谷有希子」を旗揚げし、劇作家・演出家としての活動を始めた。07年、『遺難』で第10回鶴屋南北戯曲賞を最年少で受賞。09年には『幸せ最高ありがとらマジデー』で第50回岸田國士戯曲賞に輝いた。小説家としても活動し、13年に『嵐のヒクニック』で第7回大江健三郎賞、14年には『自分を好きになる方法』で第27回三島由紀夫賞を受賞している。

の実家で完成させたもので、臨月を迎えても、ぎりぎりまで手直ししてました。そして無事に校了し、待っててくれていたかのように娘が産まれてきてくれました。いまは次の小説をこうしようという考えはありません。むしろ、心を豊かに暮らせるよう、視点点を内に向けています。そして、毎日をしっかりとして丁寧な生活の中で、書きたいものもおおざと出てくるはず。うわべだけの言葉ではなく、1文1文に作家の人格がにじみ出るような作品を書き続けていきたいと思っています。

道の駅
あなみず

(穴水町)

のと鉄道穴水駅ホームに直結
鉄道でも車でも
アクセスしやすい
奥能登観光の拠点



駅と一体になった道の駅は県内でここだけ



当駅ならではのグッズがたくさんありますよ

農産物や遠藤閣グッズ、工芸品など、多種多様な能登のおみやげがそろいます



FILE.04



宝達志水 生みの親の
ふるさとで味わう
オムライス



多彩な種類のオムライスを味わえます。提供店は黄色い旗が目印

omurice.info
宝達志水オムライス
HODATSUSHIMIZU-OMURICE



【食べられる場所】
宝達志水町内9店舗

【フライパンの誓い】

- 1の誓い
地元産を中心に、安全で安心な素材を使います。
- 2の誓い
まごころも大切な具。いっしょに入れて炒めます。
- 3の誓い
丹念に調理した具材は、卵でやさしく包みます。



町の人たちのまごころやさしさも包んだご当地グルメをぜひ

オムライスの郷プロジェクトマネージャー・地域おこし協力隊 渡邊 有美子 さん

子どもからお年寄りまで、みんな大好きなオムライス。宝達志水町では、そんな国民的メニューを生かしたプロジェクトが進行中で、カフェや割烹などの町内9店舗で店オリジナルのオムライスを提供しています。

その種類は、ケチャップライスを卵焼きで包んだなじみ深いものや、ノドグロとミニズワイガニを使った豪華なおすし風「石焼ヒンバ」のようにあつあつで味わうものなど、さまざま。素材は安全・安心な地元産が中心で、町を象徴す

るグルメとして観光客や地元客からとても好評です。

宝達志水町が、オムライスプロジェクトに力を注ぐのは理由があります。実は、オムライスの生みの親である北橋茂男さんは同町出身。オムライスは、北橋さんが大阪で開業した洋食店で、大正14（1925）年に常連客に提供したのが始まりとされています。80年以上の時を超え、ふるさとで脚光を浴びるグルメを堪能しない手はありません。

ご当地グルメとセットでいかが？



全長8キロの波打ち際ドライブが楽しめる「千里浜なぎさドライブウェイ」【写真提供/のと里山空港利用促進協議会】

千里浜なぎさドライブウェイ

宝達志水町を訪れたならば、国内で唯一、海岸線をドライブできる千里浜なぎさドライブウェイをお楽しみください。海を満喫した後は能登最高峰の宝達山（標高637メートル）へ。車で山頂近くまで行くことができ、昨年夏には展望デッキも完成し、能登半島や北アルプス連峰を一望できます。町内にはやわらぎの郷など桜スポットもたくさんありますよ。

●宝達志水町企画振興課 TEL.0767 (29) 8250



おいしいグルメと自然いっぱいの宝達志水町に遊びに来てね

宝達志水町マスコットキャラクター「ほっぴーさん」

人気商品を紹介します



【穴水町産お米】400円(1kg)～

【塩サブレ&塩バウム】1080円

【遠藤閣グッズ】がま口720円/マグカップ540円 豆うちわ460円



道の駅あなみず駅長 桶 正行さん



さわやか交流館プルートには、遠藤閣の足跡をたどる展示コーナーを設置



道の駅 あなみず

穴水町大町チ41-6 TEL.0768 (52) 3333

- 四季彩々/午前9:00～午後6:00 年中無休
- さわやか交流館プルート/午前9:00～午後5:30 月曜(祝日の場合は翌日休)、年末年始



「あなみず」は、昨年12月オープンの県内で最も新しい道の駅です。道の駅には、物産や観光情報コーナーがある地域振興施設「四季彩々」、図書館などが入った地域交流施設「さわやか交流館プルート」があり、70台収容の駐車場を備えています。

四季彩々のはと鉄道穴水駅と一体になった施設で、ホームから出入りできる全国でも珍しい造りです。ドライブ客はもちろん、観光列車「のと里山海号」などローカル線の旅を楽しむ方も数多く利用しています。

道の駅には、穴水町産のお米や奥能登のお菓子などがいっぱい。さらに、同町は人気力士・遠藤閣のふるさとで、日本相撲協会公認のグッズや関取の活躍を紹介する展示コーナーもあります。奥能登観光の拠点として、ぜひお立ち寄りください。

ひと足伸ばして 行ってみよう! NOTO WINE 能登ワイン

能登半島の風土を生かした穴水町の特産品の一つが、「ワイン」です。道の駅あなみずから車で約20分走ると見えてくる「能登ワイン」では、広大な畑で栽培した専用ブドウを使い、加熱殺菌を行わない本格生ワインを製造しています。さまざまなワインコンクールで入賞実績を誇るワインは、冷暗所で保管しておくことで熟成し、味わいに深みが増していきます。試飲や醸造所見学もでき、ギャラリーには自慢の能登ワインがずらり。里山の恵みが生んだ1本は、穴水町のお土産に最適です。

●能登ワイン…穴水町旭ヶ丘115番1 TEL.0768 (58) 1577



岩手・宮城・福島県から 石川県の皆さまへ



ありがとう。

東日本大震災から5年となります。石川県の皆さまからは多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。
岩手・宮城・福島の三県は東日本大震災により大きな被害を受けましたが、現在はそれぞれの県民が一丸となって復興に取り組んでおります。春の桜、夏祭り、秋の紅葉、そして一面の雪景色といった四季折々の風景や歴史を物語る名所旧跡、地元の食材を活かした郷土料理、豊富な泉質と湯量を誇る温泉などが、皆さまのお越しをお待ちしています。
ぜひ、岩手・宮城・福島に足をお運びいただき、復興を目指して歩む三県の「今」を体感してください。



岩手県広聴広報課 / TEL 019 (629) 5283
<http://www.iwatetabi.jp/>

宮城県広報課 / TEL 022 (211) 2283
<http://www.miyagi-kankou.or.jp/>

福島県広報課 / TEL 024 (521) 7014
<http://www.tif.ne.jp/>

石川県広報誌「ほっと石川」春季号(年4回発行)

通巻第80号

平成28年3月31日発行

石川県県民交流課広報広聴室
〒920-8588 金沢市鞍月1丁目1番地

☎ 076(225)1362 [広報]

石川県ホームページ
www.pref.shikawa.lg.jp/

私にとっての豊かな老後とは、
子どもに迷惑かけずに生きることです。



人生を、満開に。

ゆとりの「一般居室」と
安心の「介護居室」

24時間の
介護・看護体制。*3

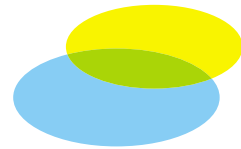
終身介護をお約束。*4
介護居室への住み替え費用も不要。

経験豊富なスタッフ&
充実した共用施設。

*1 天然温泉：(泉質)ナトリウム、カルシウム塩化物強塩泉 (効能)神経痛、関節痛、冷え性、慢性婦人病 等
当ホームの天然温泉は、泉温が高いので井戸水を加水しています。*2 写真は実際のお料理の一例です。*3
夜間時(17:30~翌8:30)は看護職員1名・介護職員2名(最少人員各1名ずつ)の配置となります。*4 入居者の
行動が、他の入居者又は、従業員の生命に危害を及ぼし、又は、その危害の切迫した恐れがあり、かつホームにお
ける通常の介護方法及び接遇ではこれを防止することができないときは、契約解除となる場合がございます。

事業主体 / スプリングライフ金沢 株式会社 ※当社は三谷商事の100%出資による会社です。
石川県金沢市栗崎町4丁目80番地2 Tel.076-238-8000 Fax.076-237-2323 <http://springlife.jp/>
(公社)全国有料老人ホーム協会 正会員 石川県指定介護保険特定施設(一般型特定施設) / 石川県指定第1770100012

広告



ワオリティ・シニアマンション

スプリングライフ金沢

三谷商事グループの介護付有料老人ホーム



「天然温泉」*1
掛け流しの大浴場と
露天風呂。



朝昼晩、
メニューを選べる
お食事をご予約不要
で毎日ご用意。*2



24時間体制での
終身介護を実施。*3

資料請求・ご見学・体験入居のお問い合わせは

☎ 0120-132-871

スプリングライフ金沢

検索

パンフレットを
お送りします▶



前略 石川県知事

県政に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください



住所・郵便番号・氏名・年齢・職業をご記入の上、
郵便またはファクスでお送りください。

〒920-8580 (住所の記入不要)
石川県広報広聴室『前略 石川県知事』あて
TEL 076 (225) 1362 FAX 076 (225) 1363

ふるさと納税

「ふるさと石川」の魅力アップに活用します。
県外在住のご協力者を紹介してください。

●問い合わせ
石川県県民交流課 TEL 076 (225) 1361
www.pref.shikawa.lg.jp/kenmin/furusatonouzei/



環境保護のため、大豆インクを使用しています。紙は資源です。リサイクルしましょう。